

### 「荒町をぶちこわせ」

九月のキャッチ「ロー」に標題のようにかきました。引き続き続いて次の週にはその意味、真意がわからないというので、「破壊なくして荒町に未来なし」とかきました。多少はききすぎたかなと思いましたが何人かの人に、「物騒だねテロ事件でもおこすの」ともいわれました。残念な事に、商店街の人からは、ウンともスンも云って来ません。もっとも商人が私に向かって「何事だ」と云って来て欲しかった。

なぜこんなことを書いたか説明します。先月の発表で荒町の土地の値段が、宮城県内第二位になるぐらい値下がりしました。約十六%も下がりました。実は昨年も十六%で第二位。一昨年はこれ又十六%で宮城県で第一位の値下り率でした。三年間で半額になってしまったのです。こんなに商店街でまちおこしをいっばいやつてマスコミにとりあげられ、駅、に近いとしても便利。病院、学校、郵便局と生活のインフラが揃って、こんないいところないと住んでいる方がいつているのになぜ土地の価格が下がるのでしょうか。私の知り合いの不動産鑑定士に聞きました。つまり、土地に魅力がないから、売れないので値打ちが下がったそうです。例えば私の店は細長くて、前の方しか活用できません、裏の方は死んでいきます。百坪の土地の

十分の一しか利用出来ない。それしか価値がない。このうなぎの寝床が荒町の発展を阻害するガンになっているのです。

今年四月の仙台市の公報に荒町小学校、市民センターの改築、児童館の新設が日程にのぼったことが書いてありました。十八年前に当時の石井市長と幸五郎が話し合ったことがありました。

「この地区を開発して一体のものをつくろう」と計画しました。が、住民の方が乗ってこなかったので実現しませんでした。今ここで計画を行政と話合わないと永久に荒町の利用価値は向上しないでしょう。

もともとその昔、土地は個人のものではなかったはずです。いつから個人のものになったのだろう。

### テレビ出演の機会に

#### 幸五郎変身

九月。町内の女友達、大須賀はつさんのおどりの会に行ってきました。そのお返しに京都製の粋な大判ハシカチをもらいました。どうしようかなと一瞬考えました。思い切って頭にターバン風にしばりつけました。これをつけて街の中、お店、会議と走りまわりました。いつものことながら鏡で見るとかなり変に見えます。本人はしよつちゅつ鏡を見ている訳でないのであまり気になりません。みんなに「いいね

とお世辞にいわれます。でも、ちよつぱり、おしよすい事は本音ですが、ここでひるんでいては幸五郎のマイデンティティがすたります。こんな格好をしていたら東北放送テレビ局から、「番組グランチエに出演してくれ」という。どんな事をするのかその後何にも云って来ませんでした。

十月八日朝、テレビのお兄さんがタクシーで迎えに来ました。タクシーの中でやつと何をするのかわかりました。色紙と筆を持って、弁当を食べているところにカメラと一緒に行って、私もインタビューしながら、その時感じたことをその場で幸五郎お得意のキャッチ「ロー」を筆で色紙に書いて、相手に進呈するという。まことに難しい事に引き込まれてしまいました。

この日は支倉学園が目的地でした。昼飯をたべているところにカメラで取材するというには大変失礼でもあるし、先方も食べたそらがなり。まったくのフライパシの侵害です。こういつのをのぞき趣味の最たるものである。先方がいやがれば出来ない相談である。

生徒さん十人位、昼ごはんを食べているところからはじまりました。同室の二人で作った弁当、おふくろさんが作ってくれた丁寧な弁当、「コンビニのカツラーメン」も有る。白いごはんにたらいで顔を書いたイメージ弁

当。皆さんも多彩な服装、ヘアスタイルでありました。競争中、お米が無くて空弁当箱をもっていつて演技して食べた幸五郎の六十一年前とは月とスッポンでした。幸五郎のここで即席に筆をとって「弁当は乙女心のファッションブル」とかいて生徒さんに進呈しました。

引きつづき五人の先生方の弁当を見せてもらいました。すごい弁当でした。栗ご飯もありました。朝六時に起きてつくるそうです。前日の残りをていねいに又煮なおして、つくった物もありました。テレビ用に息子の弁当を横取りして来た先生のもありました。何回もカメラワークをやりなおすので先生方も食べた空がなかったのではないでしょう。かさて、幸五郎これを見て、「句かかなければなりません。こんな時ちつとも上がらなくなりました。」弁当は芸術ナリ」とかいたのですが、ちよつと待てよとひねりなおして、「弁当は、生活のアートなり」としました。先生方から「ホー」と感嘆の声が上がりました。テレビのお兄さんからもすこく良いと云われました。かくして幸五郎テレビ初デビューまずまずの合格点でした。

### 三越社員食堂

二回目の取材は三越の社員食堂でした。一番丁店のとなりの小田急ビル二階にあります。まず、最初に料理長に突撃質問。「お客様の喜ぶ顔を見たい」とおっしゃった。「何でお客さんなんですか」と聞いた。料理長曰く

「やはりお客様です」とテ  
パートらしい答えが帰って  
来た。前回の洋裁学校と違  
って、表情が固く取材拒否  
が多く、なかなかうまくい  
かなかった。必ずしも正社  
員だけではない。仙台市の  
水道局から出向で来た人が  
いたが、なんとか応対して  
もらった。やっとメン「イ女  
性と話がつながって、話が聞  
けた。この対話からヒントを  
得て「花嫁資金稼げる社員  
食堂」と書いた。なにしろ料  
金が安い。幸五郎が食べた  
ざるそばは、なんと160円  
でした。自分で作って来たべ  
んとつを、ひろげている方  
もいました。やはり、三越さ  
んは固い。所詮、「こいつの  
ぞき趣味はよくない。よっ  
ぽど事前に打合せておかな  
くてはと思ったが、突然とい  
うムニンクもテレビの仕事  
かも知れない。やって見なけ  
れば分からない。いずれに  
しても今日は六十点でし  
た。

十六回目の若林区民まつり  
やっと晴マークの十月十  
七日。朝から大快晴でした。  
お客様がごんどん、若林  
区役所裏の駐車場に集まっ  
て来ました。幸五郎はやき  
いも屋と似顔描き屋をやり  
ました。  
焼きいもの方は、ガス欠  
をおこしたりして、いまいち  
でした。予想外に集まったの  
が似顔描きコーナーでした。  
皆さんはずかしがりやさん  
が多く、お客様をつかま  
えるのが、ひと苦労。絵の方  
は近所の四つ目くんが担当。  
出来た色紙に幸五郎が筆で  
一言かくといふことになり

した。行列が出来る位に集  
まりました。ちよつと、はず  
かしいと云う人はテントの  
中で書きました。結構子ど  
もさんが多かった。家族三  
人を一枚の色紙にかいた人  
も五百円でサービスしまし  
た。「永久美人」「大きくなっ  
たら遊園地の社長」「七十才  
からが本当の人生」「家庭円  
満」等々・・・お客様と楽し  
く話しながらかいてあげ  
ました。背のスラリとした、  
若い美女が書いて下さいと  
やって来ました。絵の方もと  
ても美しく出来ました。こ  
両親も一緒だったので、「ソ  
ソリ嫁入り前と聞いたので  
本人に了解をもらって「嫁に  
したい女」と一氣に書いてあ  
げました。本人はもとより、  
ご両親もすぐくよるこんで  
くれました。お嬢さんをお  
世話してあげたい気になり  
ました。守衛のおじさん、交  
通指導隊のお姉さん、カメ  
ラをもった老紳士。四十人  
もの方々をかいてあげまし  
た。区民まつりは、このよう  
な会話のやりとりもいも  
んです。今日は私の家族九  
人全員、各ボランティア団体  
に所属して参加しました。  
今年で十六回になります、  
その前身からやっているの  
もう二十一年間、一度も休ま  
ず区民まつりに参加してい  
ます。

## 十一月二十七日(土)

### みんな荒町に来てね

幸五郎、宮城県のまちづ  
くり会議の仙台支部長をし  
ています。今年の宮城県の  
地域づくりの交流会を荒町  
商店街を使ってやる事にな

りました。私の師匠の市原  
実さん、元収入役の東海林  
恒英さんが講演、幸五郎の  
説明で、ひびき愛「コンサート  
星空「コンサート」の再現もし  
ます。全国区金賞の三女高  
の合唱、荒町小のスクール  
バンド、SCSのミュージカル  
など。分科会は、昌伝庵、宮  
城文化学園、市民センター、  
に分かれます。四時半〜五  
時、ストリートパフォーマンス  
ンスもあり、居酒屋での交  
流もあります。ぜひ、みな  
さんご参加下さい。

### 幸五郎健康川柳

牛乳にキナ「をまぜて

いいくすり

納豆をぐるぐるねって

ぐるめ食

三度三度 楽しく食べて

早く寝る

孫の声 長生きしてねと

聞こえます

生きがいは 晩酌の 定期便

仕事して 早ね早おき

一日長い

寝る食べる 早ね早起き

リズムつけ

お店番 話はずんで

元気です

車捨て 歩いて歩いて

汗をかく

丸くなく 四角ばって

老人力

#### キャッチコピー

- ・ おれをすてないで
- ・ 今日の弁当一期一会
- ・ 荒町をぶちこわせ
- ・ 破壊なくして荒町に未来なし
- ・ 私も近所の人なり